

27年度

決算のあらまし

27年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案しました。

一般会計

市の財政の柱となる一般会計の27年度決算額は、最終予算額1415億5935万円に対し、歳入が1392億3741万円（執行率98・4%）、歳出が1366億2007万円（執行率96・5%）で、歳入歳出差引額は26億1734万円となりました。

これから28年度へ繰り越す2億8527万円を差し引いた実質収支額は、23億3207万円の黒字となりました。

27年度決算の主な事業

函館アリーナや函館フットボールパーク、戸井西部総合センターの新築工事を行ったほか、巴中学校の校舎等新築の実施設計、旭岡団地の外壁等改修工事や五稜郭中学校の校舎等改修工事、小中学校、幼稚園の耐震改修工事など、地域の振興・発展に配慮しつつ、都市基盤や生活環境の整備等に努めました。

このほか、北海道新幹線開業記念イベントの開催や首都圏・東北地区等での観光プロ

モーション実施に加え、外国人観光客誘致のため、東アジア、東南アジア地域において観光プロモーションを実施したほか、「ほこだてグルメサーカス」の開催や函館駅前広場

でのイルミネーションの実施など、観光イベントの充実や冬季観光客誘致の促進に努めました。また、中心市街地や地域経済の活性化のため、「中心市

表1 平成27年度 一般・特別会計決算 (単位: 万円)

会計別	収入済額(A)	支出済額(B)	差引額(A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越す財源(D)	実質収支額(C)-(D)	
一般会計	1,392億3,741	1,366億2,007	26億1,734	2億8,527	23億3,207	
特別会計	港湾事業	33億8,584	33億1,871	6,713	4,001	2,712
	国民健康保険事業	382億8,466	390億8,474	△8億 8		△8億 8
	自転車競走事業	198億8,101	201億 462	△2億2,361		△2億2,361
	奨学資金	4,164	3,832	332		332
	地方卸売市場事業	4億3,131	4億2,380	751		751
	介護保険事業	267億5,904	261億4,440	6億1,464		6億1,464
	発電事業	6,411	6,287	124		124
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億7,028	8,088	8,940		8,940
	後期高齢者医療事業	38億9,884	38億2,343	7,541		7,541
	小計	929億1,673	930億8,177	△1億6,504	4,001	△2億 505
合計	2,321億5,414	2,297億 184	24億5,230	3億2,528	21億2,702	

街地活性化基本計画」に基づき、「ほこだてみらい館」および「ほこだてキッズプラザ」を整備する再開発ビルの床の取得、函館コミュニティプラザや中央病院前電停整備のための実施設計を行ったほか、「函館駅前若松地区市街地再開発事業補助金」や「函館本町地区優良建築物等整備事業補助金」、「元氣いっぱい商店街等支援交付金」などを交付しました。

今後の行財政運営

少子高齢化や人口の減少などにより、今後においても厳しい財政運営を強いられることが予測されます。このため現在、新たな行財政改革プランの策定に取り組んでおり、これまで以上に効率的な行財政運営に努め、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から分離して収支経理を行っています。

27年度特別会計決算は、表1のとおりですが、国民健康保険事業特別会計および自転車競走事業特別会計では、赤字となっています。この不足分は、28年度の収入から繰り

上げて充用し、補てんしていきます。

なお、港湾事業特別会計では、豊川地区などで岸壁の改修工事を行いました。

企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

27年度企業会計決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金44億8089万円が支出されています。

都市基盤の整備

市では厳しい財政状況にもかかわらず、都市基盤の整備に力を注いでいます。

27年度末では下水道普及率90・2%（前年比0・2%増）、道路舗装率75・9%（前年比0・2%増）となっています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問い合わせ 財政課

☎21・3561

※ 水道・公共下水道・交通事業は企業局管理部経理課（☎27・8721）、病院事業は病院局管理部経理課（☎43・2000）へ。

1年間に市民1人当たりが負担する市税の金額

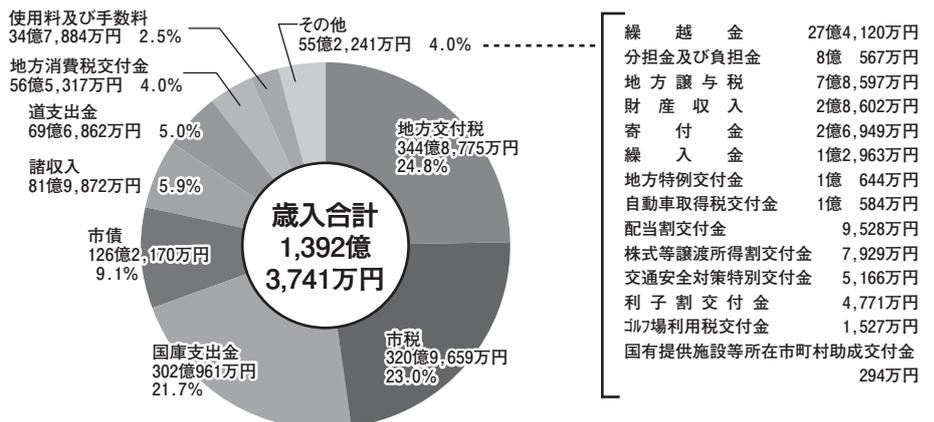
120,314円

市民1人当たりの決算額

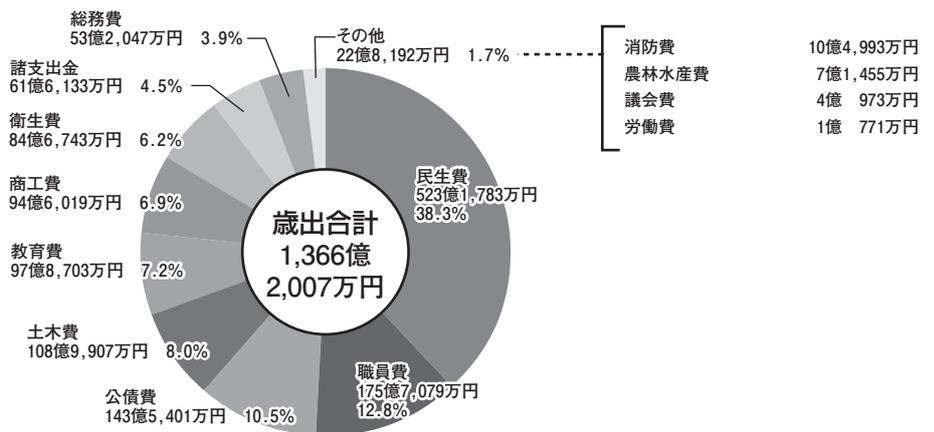
<p>民生費</p> <p>福祉の充実などに</p> <p>196,114円</p>	<p>土木費</p> <p>道路や公園の整備などに</p> <p>40,855円</p>
<p>商工費</p> <p>経済・観光振興などに</p> <p>35,461円</p>	<p>教育費</p> <p>学校施設の整備などに</p> <p>36,687円</p>
<p>衛生費</p> <p>清掃事業や保健対策などに</p> <p>31,740円</p>	<p>総務費</p> <p>企画調整や税務、地域活動、防災活動、大学の運営などに</p> <p>19,944円</p>
<p>消防費</p> <p>消防施設の整備などに</p> <p>3,936円</p>	<p>公債費</p> <p>借入金の返済などに</p> <p>53,806円</p>
<p>職員費</p> <p>職員の給与などに</p> <p>65,864円</p>	<p>その他</p> <p>議会費、労働費、農林水産費、諸支出金など</p> <p>27,714円</p>

※金額は、一般会計の決算額を平成28年3月31日現在の人口26万6,773人で割ったものです。

27年度 一般会計決算内訳



繰越金	27億4,120万円
分担金及び負担金	8億 567万円
地方譲与税	7億8,597万円
財産収入	2億8,602万円
寄付金	2億6,949万円
繰入金	1億2,963万円
地方特例交付金	1億 644万円
自動車取得税交付金	1億 584万円
配当交付金	9,528万円
株式等譲渡所得割交付金	7,929万円
交通安全対策特別交付金	5,166万円
利子割交付金	4,771万円
ゴルフ場利用税交付金	1,527万円
国有提供施設等所在市町村助成交付金	294万円



消防費	10億4,993万円
農林水産費	7億1,455万円
議会費	4億 973万円
労働費	1億 771万円

表2 平成27年度 公営企業会計決算

(単位：万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益 純損失	累積財源 過不足額(注)	一般会計からの繰入金	
水道事業	収入	49億1,402	18億4,114	3億6,021	24億 970	1億3,509
	支出	44億2,198	34億6,353			
公共下水道事業	収入	79億3,958	29億8,099	9億6,953	19億2,833	16億4,152
	支出	69億 969	54億4,922			
交通事業	収入	13億8,530	4億5,685	3,495	2億5,639	3億 945
	支出	13億2,380	5億4,722			
病院事業	収入	200億1,523	25億6,051	△9億 820	△19億9,279	23億9,483
	支出	209億2,164	33億 760			
合計	収入	342億5,413	78億3,949	4億5,649	26億 163	44億8,089
	支出	335億7,711	127億6,757			

(注) 病院事業の累積財源過不足額は、健全化法の資金過不足額を用いて算出しています。

HP

健全化判断比率および資金不足比率の公表

お問合せ 財政課 ☎21-3526

財政健全化法により、各指標が基準を超えた場合、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなっています。27年度決算での指標の状況は、右図のとおりです。詳細は市のHPに掲載しています。

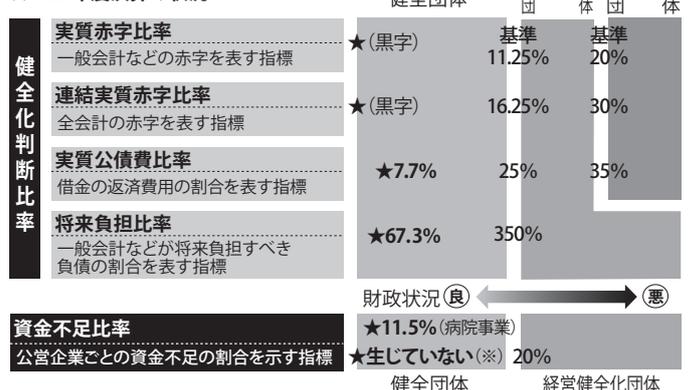
健全化判断比率 全ての指標で基準を下回っています。

資金不足比率 全ての会計で基準を下回っていますが、病院事業で資金不足が生じています。

いずれの指標も基準以内となっていますが、これらはひとつの目安に過ぎないことから、今後も厳しい状況の中、さらなる財政の健全化を図っていきます。

平成28年10月 [市政はこたて]

★…27年度決算の状況



※ 水道、公共下水道、交通、地方卸売市場、発電の各事業